

いこいこツインユ

第69号

令和 5年 1月
発行: 依田窪老人保健施設
広報編集委員会
〒386-0603
小県郡長和町古町 3365-5
TEL : 0268-68-0281
FAX : 0268-68-0283

新年のごあいさつ



施設長
須山 和弘



新年あけましておめでとうございます。
利用者の皆様ならびに地域の皆様のご多幸を心より祈念申し上げます。

今後も地域に根ざした老人保健施設を目指して、地域の皆様の健康および生活の向上に貢献できるように努めていく所存です。

昨年までは長年のコロナ禍で、世界中が大混乱に陥りました。老人保健施設の運営も困難を極め、利用者の皆様ならびに地域の皆様にも多大なご迷惑をおかけしたかと思えます。なんとか依田窪老人保健施設いこいの運営ができたのも利用者の皆様ならびに地域の皆様のあたたかいご支援とお力添えの賜物であり、深く感謝申し上げます。

本年は感染症法が変更されて、新型コ

ロナウイルス感染症が2類相当から5類相当へ引き下げられる見通しです。感染症法の変更により、当初は現場も混乱するかもしれませんが、感染症法が変更されてもコロナ感染症がなくなるわけでもありませんし、インフルエンザ感染症やノロウイルス感染症などの注意しなければならぬ感染症もたくさんあります。今後も基本的な感染予防・感染対策は続けて、利用者の皆様の健康および生活の向上に貢献できるように努めていこうと思っています。

昨年4月に石橋久夫先生から依田窪老人保健施設いこいの施設長を引き継いで、



長和町の話題 おたや祭 1月14日・15日
山車 桜町第5場
どうする家康「関ヶ原の戦い」の場

早いもので新しい年となりました。前施設長石橋先生が目指した「全人的ケア & 全人的リハビリ」を目標に老健運営にあたりましたが、まだまだ不慣れなことも多く、利用者の皆様ならびに地域の皆様にはご迷惑をおかけしたこともあったかと思えます。新年を迎えて心機一転、職員一丸となってよりよい老健をめざしていこうと思います。

老健の使命としては、まず在宅復帰・在宅支援があります。「全人的ケア & 全人的リハビリ」を実践して住み慣れた自宅でできるだけ過ごせるように支援していききたいと思います。在宅に戻った後も、短期入所や通所リハビリを利用していただくことで、住み慣れた自宅でご家族と幸せにすごせるように手助けしていきたいと思っています。

また、老健利用者の高齢化に伴い、老健が看取りの場として重要になり、老健で最期を迎える方も増えてきています。一時的な状態悪化であれば、病院に入院していただき医療的処置を受けていただき、回復したらまた老健・ご自宅で過ごしていただくということになりますが、老化現象がもたらした、いわゆる老衰状態では、病院よりも老健の方が、安らかな尊厳ある最期を迎えることができる場合もあります。そのような場合には老健にて終末期の対応をさせていただきたいと思っています。

だれでも老いることにより心身の機能が低下してきてしまいますが、尊厳ある生活が続けていかれるように職員一丸となって「全人的ケア & 全人的リハビリ」を目指していきます。本年も今まで同様のご支援をよろしくお願い申し上げます。



武石地域の話題 武石おねり行列
コロナ禍により、昨年4月10日の御柱大祭での執行は中止されましたが、11月3日に規模を縮小して開催されました

ほっと通信

依田窪老人保健施設「いこい」には、医師、看護師、介護員、理学・作業療法士、管理栄養士、支援相談員と多職種が勤務しています。

このコーナーでは、各職種からいろいろな情報を発信します。

Cユニット

サブリーダー 近喰 愛美

○ ご利用者が笑顔で暮らせる空間を目指して ○



私が働いている C ユニットは、新棟建設に伴い、平成 21 年に新設されました。

特徴として、居住スペースがコンパクトなことから、個別の支援・ケアが行いやすいところが挙げられます。

また、認知症利用者も多く利用されています。ご利用者が笑顔で過ごせる様、笑顔を引き出すケアやご利用者・職員ともに笑って過ごせる環境作りを目標に、ユニット一丸となって取り組んできました。

その中でも大切にしてきたことは、ご利用者の習慣や趣味等を生活の中に取り入れて、楽しくリハビリや生活をしていただくことです。

例として多肉植物を活用し、ご利用者と一緒に株分け、根付いた物からポットへ植え替え、看板作成等も職員と一緒に「出荷」と言う形で玄関に置き、洗濯物を受け取りに来たご家族や職員に持ち帰ってもらう事ができました。「大切に育てた子達が無事に巣立って良かった」と笑顔になって話してくれるご利用者もありました。

また、家庭の日常生活の中で行っていた洗濯物を干す作業や秋には干し柿作りのお手伝いを行っていただきました。元日は、いこい神社を開設し、ご利用者皆さんでお参りやおみくじを引き、「今年も元気で暮らせるね」と話されていました。

ご利用者皆さんが役割を持つことで、楽しく笑顔で過ごしています。

ご利用者一人ひとり個性があり、認知力や身体能力も違います。そのご利用者に合った対応をユニット職員、または、多職種で検討・共有しながら取り組んでいます。

ここ 2～3 年コロナウイルス蔓延に伴い、窓越し・タブレット面会での対応とさせていただいていますが、いこいの中でどのように生活しているかご家族の中で不安があると思います。

来所された際は、いこいでの様子をお伝えするとともに、ご自宅での生活に合わせた環境で対応していきたいと考えています。ご利用者がご自宅で生活するためには、ご家族の協力が必要になります。

オムツの当て方や食事の介助方法、車椅子からベッドへの移乗方法等、どんなことでもご相談ください。

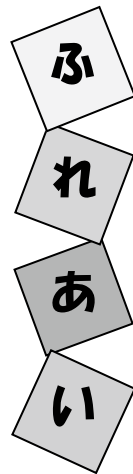
ご家族のサポートもケアの 1 つです。お気軽にお声掛けください。



皆さんの笑顔がとても素敵でした。普段なかなかできない事ではあります。が、企画し、実施できたことを大変嬉しく思います。皆さんについてもらったお餅は、鏡餅にしました。これからも、いこいをご利用する皆さんが心も身体も元気に過ごしていただけるよう、職員一同、心を込めてケアに努めてまいります。

(食事・行事委員 石黒 愛)

■新年会「餅つき」(1月11日)



1月11日新年会を行いました。今年は、利用者の皆さんが今年1年元気で過ごしていただけるよう健康を祈願して餅つきを行いました。

餅つきには、大勢参加していただきました。昔ならではの臼や杵を見て懐かしむ方もいました。職員と一緒に餅つきを行いとても迫力がありました。皆さんの大きな掛け声もいこいの中に響き渡りました。

皆さんの笑顔がとても素敵でした。

普段なかなかできない事ではあります。が、企画し、実施できたことを大変嬉しく思います。

皆さんについてもらったお餅は、鏡餅にしました。

これからも、いこいをご利用する皆さんが心も身体も元気に過ごしていただけるよう、職員一同、心を込めてケアに努めてまいります。

■職員人事

○11月1日付、新規採用
▽看護師 小田部 千恵



話や訴えを傾聴し、その人らしさを大切に寄り添ったケアを行えるように頑張ります。よろしくお願ひします

○12月1日付、人事異動 (老健↓病院)
▽看護師 神山 あゆみ

★編集後記★

新年あけましておめでとうございます。新型コロナウイルス感染症が国内で確認されてから3年目の春を迎えましたが、はじめて行動制限がない年末年始は、交通機関、高速道路、観光地等は、大変混雑したようでした。

感染が終息し、安心して旅行や移動ができるようになればいいですね。

(編集委員)



新年会 餅つき